

教育の基礎的理解に関する科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|------|------|-------|--------------|--|--|
| 9200111 | 現代教育と教育理念 | 1 | 1.0 | 1 | 春C | 木1,2 | 2H201 | 平井 悠介 | 子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。 | 人文・応理・エシス・比文・日仏・社工・総学対象 対面 |
| 9200121 | 現代教育と教育理念 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 水1,2 | 2H201 | 平井 悠介 | 子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。 | 生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面 |
| 9200131 | 現代教育と教育理念 | 1 | 1.0 | 1 | 春C | 月3,4 | 2H101 | 平井 悠介 | 子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。 | 教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面 |
| 9200141 | 現代教育と教育理念 | 1 | 1.0 | 1 | 秋A | 集中 | | 平井 悠介 | 子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。 | 体育1~5クラス対象 対面 |
| 9200151 | 現代教育と教育理念 | 1 | 1.0 | 1 | 秋B | 集中 | | 平井 悠介 | 子どもが人として生まれ、人間として形成されていく過程で、大人・教育者はどのようなはたらきかけを行うべきか。また、社会は社会的存在としての人間の形成にどのように関わるべきか。こうした課題を、人間の発達、教育の目的、内容、方法、制度的・組織的原理等に関わる教育の基礎理論・基本的概念をふまえながら、多面的に考察する。 | 体育6~10クラス対象 対面 |
| 9200211 | 教育史概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春C | 火3,4 | 2H101 | 平田 諭治 | 学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。 | 人文・応理・エシス・比文・日仏・社工・総学対象 対面 |
| 9200221 | 教育史概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春AB | 月4 | 2H101 | 平田 諭治 | 学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。 | 生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面 |
| 9200231 | 教育史概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春C | 月5,6 | 2H101 | 平田 諭治 | 学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。 | 教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面 |
| 9200241 | 教育史概論 | 1 | 1.0 | 1 | 秋B | 集中 | | 平田 諭治 | 学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。 | 体育1~5クラス対象 対面 2-6限 |
| 9200251 | 教育史概論 | 1 | 1.0 | 1 | 秋B | 集中 | | 平田 諭治 | 学校と教育の歴史的現在を確認したうえで、古代・中世から現代にいたる人間形成と教育のあり方について、その理念や思想とともに概観する。とくに学校が制度化される、近代以降の教育史的展開について詳しく説明する。 | 体育6~10クラス対象 対面 2-6限 |
| 9803151 | 教職論I | 1 | 1.0 | 1 | 春AB | 月6 | 2H101 | 朝倉 雅史, 古田 雄一 | 教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。 | 人文・応理・エシス・比文・日仏・社工・総学対象 対面 |
| 9803161 | 教職論II | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 金2 | 2H101 | 朝倉 雅史, 古田 雄一 | 教員の具体的・実務的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。 | 人文・応理・エシス・比文・日仏・社工・総学対象 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---|-----|---|-------|------|-------|--------------|---|--|
| 9803211 | 教職論I | 1 | 1.0 | 1 | 春C | 水1,2 | 2H101 | 朝倉 雅史, 古田 雄一 | 教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。 | 生物・地球・数学・物理・化学・創成・医学・看護・医療・芸術・総学対象 対面 |
| 9803221 | 教職論I | 1 | 1.0 | 1 | 春AB | 水1 | 2H201 | 朝倉 雅史, 古田 雄一 | 教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。 | 教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面 |
| 9803241 | 教職論I | 1 | 1.0 | 1 | 春AB | 月5 | 2B412 | 古田 雄一, 朝倉 雅史 | 教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。 | 体育1~5クラス対象 対面 |
| 9803251 | 教職論I | 1 | 1.0 | 1 | 春AB | 水1 | 5C416 | 朝倉 雅史, 古田 雄一 | 教員の養成と採用の全体像を確認したうえで、教員養成の変遷とともに、それに伴う教師像の移り変わりにも言及しながら、現代社会で求められる教員の資質能力を、資格と役割と職務とのかわりにおいて講義する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師像を考えることになる。 | 体育6~10クラス対象 対面 |
| 9803311 | 教職論II | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 金2 | 2A409 | 朝倉 雅史, 古田 雄一 | 教員の具体的・実務的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。 | 生物・地球・数学・物理・化学・創成・総学対象 対面 |
| 9803321 | 教職論II | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 水1 | 2H201 | 朝倉 雅史, 古田 雄一 | 教員の具体的・実務的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。 | 医学・看護・医療・芸術・教育・心理・障害・知識・社会・国際・資源・情報・総学対象 対面 |
| 9803341 | 教職論II | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 金2 | 5C213 | 三田部 勇 | 教員の具体的・実務的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。 | 体育1~5クラス対象 対面 |
| 9803351 | 教職論II | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 水1 | 5C213 | 三田部 勇 | 教員の具体的・実務的な職務とともに教師としてのライフサイクルを取りあげ、教員の校務分掌と連携、そして家庭・地域社会と学校との連携、つまりチームとしての学校の重要性について検討する。その講義を通して、学生は自分なりの理想とする教師のあるべき姿を考えることになる。 | 体育6~10クラス対象 対面 |
| 9200311 | 教育社会学概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春季休業中 | 集中 | | 立石 慎治 | 教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場合は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。 | 対面 2-6限 |
| 9200321 | 教育社会学概論 | 1 | 1.0 | 1 | 春BC | 集中 | | 徳永 智子 | 教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場合は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的関係を伝達することが、本講のテーマである。 | 対面 2-6限 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---|-----|---|-----|------|-------|--|---|---|
| 9200331 | 教育社会学概論 | 1 | 1.0 | 1 | 秋B | 集中 | | 徳永 智子 | 教育社会学は、教育に関わる社会事象を対象とし、社会学の視点と方法で研究する学問である。その対象は幅広く設定できるが、近代社会において教育現象が集約される場合は主として学校である。そのため本講では学校という社会的制度を中心にとりあげながら、「全体社会と教育の関係」および「教育に持ち込まれる社会関係」について検討する。社会が教育を規定すると同時に、教育が社会を作り出しているという、両者の循環的關係を伝達することが、本講のテーマである。 | 対面 2-6限 |
| 9200411 | 教育の法と制度 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 月6 | 2H101 | 藤井 穂高 | 教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。 | 人文・応理・エシス・ 比文・日比・社工・教 育・心理・障害・知 識・社会・国際・資 源・情報・総学対象 対面 |
| 9200421 | 教育の法と制度 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 月4 | 2H201 | タスタンベコワ クアニシ | 教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。 | 生物・地球・数学・物 理・化学・創成・医 学・看護・医療・芸 術・社会・国際・資 源・情報・総学対象 対面 |
| 9200431 | 教育の法と制度 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 月5 | 5C216 | 藤井 穂高 | 教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。 | 体育1~5クラス対象 対面 |
| 9200441 | 教育の法と制度 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 月5 | 5C416 | タスタンベコワ クアニシ | 教育の法と制度について、基本的な学校の制度、学校教育を支える仕組み、多様な学びの場について、概説する。 | 体育6~10クラス対象 対面 |
| 9200511 | 学校経営概説 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 木2 | 2H101 | 佐藤 博志 | 現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。 | 人文・応理・エシス・ 教育・心理・障害・知 識・社会・国際・資 源・情報・総学対象 対面 |
| 9200521 | 学校経営概説 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 火4 | | 照屋 翔大 | 現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。 | 比文・日比・社工・生 物・地球・数学・物 理・化学・創成・医 学・看護・医療・芸 術・総学対象 オンライン(オンデマ ンド型) |
| 9200531 | 学校経営概説 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 火4 | 5C213 | 佐藤 博志 | 現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。 | 体育1~5クラス対象 対面 |
| 9200541 | 学校経営概説 | 1 | 1.0 | 1 | 秋AB | 木2 | | 照屋 翔大 | 現代社会における学校教育の意義について、公教育の理念と歴史を踏まえながら幅広い視野で考えることができるように議論を進める。その上で、学校教育をめぐる最新の政策・実践に関する題材をもとに学校の自律性に向けた学校組織・学校経営の在り方を考える。そうした議論を通じて、子どもの成長と安全、教職員の協働、地域社会・保護者・学校の連携、学校の危機管理に関わる基礎的・実践的な力の修得を目指す。 | 体育6~10クラス対象 オンライン(オンデマ ンド型) |
| 9100111 | こころの発達 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 木1,2 | 2H101 | 安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太, 中澤 佳奈子 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 人文・応理・エシス・ 比文・日比・社工・総 学対象 対面 |
| 9100121 | こころの発達 | 1 | 1.0 | 1 | 春C | 金1,2 | 2H101 | 安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太, 中澤 佳奈子 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 生物・地球・数学・物 理・化学・創成・医 学・看護・医療・芸 術・総学対象 対面 |
| 9100131 | こころの発達 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 月3,4 | 2H201 | 安藤 智子,大塚 泰正,藤 桂,尾野 裕美,千島 雄太, 中澤 佳奈子 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 教育・心理・障害・知 識・社会・国際・資 源・情報・総学対象 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---|-----|---|-----------------|------------|-------|--|---|--|
| 9100141 | こころの発達 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 火3,4 | 5C416 | 安藤 智子, 大塚 泰正, 藤 桂, 尾野 裕美, 千島 雄太, 中澤 佳奈子 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 体育1~5クラス対象 対面 |
| 9100151 | こころの発達 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 月5,6 | 5C407 | 安藤 智子, 大塚 泰正, 藤 桂, 尾野 裕美, 千島 雄太, 中澤 佳奈子 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 体育6~10クラス対象 対面 |
| 9100211 | 学習の心理 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 火3,4 | 2H101 | 山田 一夫, 外山 美樹, 綾部 早穂, 高橋 阿貴, 藤田 和也, 小川 緑 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 人文・応理・エシス・ 比文・日比・社工・総 学対象 対面 |
| 9100221 | 学習の心理 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 金1,2 | 2B411 | 山田 一夫, 外山 美樹, 綾部 早穂, 高橋 阿貴, 藤田 和也, 小川 緑 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 生物・地球・数学・物 理・化学・創成・医 学・看護・医療・芸 術・総学対象 対面 |
| 9100231 | 学習の心理 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 月5,6 | 2H101 | 山田 一夫, 外山 美樹, 綾部 早穂, 高橋 阿貴, 藤田 和也, 小川 緑 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 教育・心理・障害・知 識・社会・国際・資 源・情報・総学対象 対面 |
| 9100241 | 学習の心理 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 木1,2 | 5C213 | 山田 一夫, 外山 美樹, 綾部 早穂, 高橋 阿貴, 藤田 和也, 小川 緑 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 体育1~5クラス対象 対面 |
| 9100251 | 学習の心理 | 1 | 1.0 | 1 | 秋C | 月3,4 | 5C416 | 山田 一夫, 外山 美樹, 綾部 早穂, 高橋 阿貴, 藤田 和也, 小川 緑 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。 | 体育6~10クラス対象 対面 |
| 9106011 | 教育心理学 | 1 | 2.0 | 2 | 秋C 春季休業 中 | 火3,4 集中 | 4B116 | 水野 智美 | 学校教育に必要な基礎理論として、幼児、児童及び生徒(障害のある幼児、児童及び生徒を含む)の心身の発達と学習の過程について学ぶ。備考欄の受講対象区分を守ること。 | 看護学類養護教諭課程 選択履修生に限る 対面 |
| 9606111 | 特別支援教育 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 火6 | 1H201 | 小林 秀之, 米田 宏樹, 鄭 仁豪, 左 藤 敦子, 小島 道生, 川間 健之介, 竹田 一則, 宮本 昌子, 岡崎 慎治, 三益 亜美, 石塚 祐香 | 我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒の正しい理解及び障害児の教育について、加えて、母国語や貧困の問題等により特別的教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。 | 対面 |
| 9606211 | 特別支援教育 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 金6 | 2B411 | 米田 宏樹, 小林 秀之, 鄭 仁豪, 左 藤 敦子, 小島 道生, 川間 健之介, 竹田 一則, 宮本 昌子, 岡崎 慎治, 三益 亜美, 石塚 祐香 | 我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒の正しい理解及び障害児の教育について、加えて、母国語や貧困の問題等により特別的教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。 | 対面 |
| 9606411 | 特別支援教育 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 月4 | 5C506 | 齊藤 まゆみ, 澤江 幸則 | 我が国のインクルーシブ教育システム化においては、通常のクラスに障害のある児童・生徒が在籍することは当然のこととなる。そのため、障害について知り、障害をより良く理解し、適切な教育環境を作ることが必要となっている。ここでは種々の障害のある児童・生徒の正しい理解及び障害児の教育について、さらに体育において特別な教育的ニーズのある児童・生徒への対応の必要性を解説する。 | 体育限定 対面 |
| 9604121 | 教育課程編成論 | 1 | 1.0 | 3 | 秋B | 集中 | | 田中 怜 | 学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。 | 対面 2-6限 |
| 9604201 | 教育課程編成論 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 水6 | 2B411 | 木村 範子 | 学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。 | 対面 |
| 9604301 | 教育課程編成論 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水5 | 2A309 | 木村 範子 | 学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要不可欠な基礎知識を提供する。 | 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------|---|-----|---|-----|----|-----------------|-----------------|--|--------------|
| 9604401 | 教育課程編成論 | 1 | 1.0 | 3 | 春C | 集中 | | 木村 範子 | 学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要な不可欠な基礎知識を提供する。 | 対面 両日9時開始 |
| 9604501 | 教育課程編成論 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 水1 | 5C213, 5C506 | 三田部 勇, 森田 司郎 | 学校教育において、日々の授業や実践の多くは、教育課程の範疇にある。この授業では、学習指導要領、教育課程、およびカリキュラム・マネジメントについて概説し、教職に必要な不可欠な基礎知識を提供する。 | 体育限定 対面 |

道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------|------|-----|--------|-------|-----|-------|--------|---|------------------------------|
| 9301001 | 道徳教育I | 1 | 1.0 | 2 | 春AB | 月6 | 2B412 | 田中 マリア | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 対面 |
| 9301011 | 道徳教育II | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 月6 | 2B411 | 田中 マリア | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 対面 |
| 9302001 | 道徳教育I | 1 | 1.0 | 2 | 春AB | 水3 | 2B507 | 川上 若奈 | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 対面 |
| 9302011 | 道徳教育II | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 水3 | 2B507 | 川上 若奈 | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 対面 |
| 9303001 | 道徳教育I | 1 | 1.0 | 2 | 夏季休業中 | 集中 | | 川上 若奈 | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 対面 2-6限 |
| 9303011 | 道徳教育II | 1 | 1.0 | 2 | 春季休業中 | 集中 | | 川上 若奈 | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 対面 2-6限 |
| 9305001 | 道徳教育I | 1 | 1.0 | 2 | 春AB | 木3 | 5C506 | 田中 マリア | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数) 対面 |
| 9305011 | 道徳教育II | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 木3 | 5C506 | 田中 マリア | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数) 対面 |
| 9306011 | 道徳教育I | 1 | 1.0 | 2 | 春AB | 木3 | 5C407 | 菊地 かおり | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数) 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|---|-----|---|-------|------|-------|--------------|---|----------------------------|
| 9306031 | 道徳教育II | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 木3 | 5C407 | 菊地 かおり | 道徳の本質をおさえた上で、現代の国内外における道徳教育の現状や課題について把握し、今日日本の学校における道徳教育及び道徳科の目標や内容に対する理解を深める。また、第二次世界大戦を契機として大きく変化した国内外の価値教育の在り方をおさえ、子供の心の成長や道徳性の発達への視座など、今後求められる指導の在り方についても考える。 | 体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数)対面 |
| 9807151 | 総合的な学習の時間の指導法I | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 集中 | | 唐木 清志, 梶山 正明 | 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | オンライン(オンデマンド型)令和3年度以前入学者対象 |
| 9807251 | 総合的な学習の時間の指導法II | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 集中 | | 唐木 清志, 梶山 正明 | 総合的な学習の時間の指導と評価の重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | オンライン(オンデマンド型)令和3年度以前入学者対象 |
| 9807311 | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 集中 | | 唐木 清志, 梶山 正明 | 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | 対面令和4年度以降入学者対象 |
| 9807321 | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 集中 | | 唐木 清志, 梶山 正明 | 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | 対面令和4年度以降入学者対象 |
| 9807331 | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 集中 | | 唐木 清志, 梶山 正明 | 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | 対面令和4年度以降入学者対象 |
| 9807341 | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 集中 | | 唐木 清志, 梶山 正明 | 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | 対面令和4年度以降入学者対象 |
| 9807351 | 総合的な学習の時間の指導法 | 1 | 1.0 | 2 | 春季休業中 | 集中 | | 唐木 清志, 梶山 正明 | 総合的な学習の時間の意義や、各学校において目標及び内容を定める際の考え方を理解したうえで、主体的・対話的で深い学びを実現することの重要性について、具体的な実践例(特に筑波大学附属学校における総合活動)を手がかりにして、学生自身が主体的・対話的で深い学びを行う。 | 対面令和4年度以降入学者対象 |
| 9701001 | 特別活動の理論と実践 | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 月5,6 | 2B411 | 京免 徹雄 | 学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすこと」によって学ぶ活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。 | 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|------------|---|-----|---|-------|------|-------|--------|--|--------------------------------------|
| 9702011 | 特別活動の理論と実践 | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 火4,5 | 2C404 | 京免 徹雄 | <p>学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。</p> <p>特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。</p> | 対面 |
| 9705001 | 特別活動の理論と実践 | 1 | 1.0 | 2 | 春季休業中 | 集中 | | 田中 マリア | <p>学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。</p> <p>特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。</p> | 対面 2-6限 |
| 9706011 | 特別活動の理論と実践 | 1 | 1.0 | 2 | 夏季休業中 | 集中 | | 田中 光晴 | <p>学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。</p> <p>特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。</p> | 体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾偶数) 対面 2-6限 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------------------|---|-----|---|-------|------|-------------|-------------------|---|--|
| 9706021 | 特別活動の理論と実践 | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 木2,3 | 5C416 | 京免 徹雄 | 学校は子どもたちが学ぶ場所であると同時に、生活する場所でもあります。教科において、言語・数量・情報などの基礎的スキルや、それらを活用する思考力・判断力・表現力などを育成するのに対して、教科外活動である特別活動では、集団生活における自治的活動を通して実践力、すなわち人間関係を形成する力や社会に参画する力を身に付け、生徒1人1人の自己実現を目指します。特に、21世紀を生き抜くための資質・能力の重要性が指摘される中で、非認知(社会情動)的能力の発達に寄与できる特別活動への期待が高まっています。 特別活動は、集団での「生活づくり」を通じて「なすことによって学ぶ」活動です。本授業では、生徒が自主的・自律的に活動を展開し、集団や社会の形成者になっていけるよう、教員がどのように指導すればよいのかを考えていきます。授業の進め方は、まず中学校・高等学校における特別活動の3つの領域である学級・ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事に着目し、その理論、教育目標・内容、指導方法について、講義によって検討します。さらに、実際に特別活動の指導計画を作成し、それを発表・評価していきます。 | 体育学生主対象(体育学生:学籍番号末尾奇数) 対面 |
| 9605111 | 教育の方法と技術 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 木6 | 2A409 | 樋口 直宏 | 授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教員・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。 | 対面 |
| 9605211 | 教育の方法と技術 | 1 | 1.0 | 3 | 春C | 金5,6 | 2A409 | 樋口 直宏 | 授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教員・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。 | 対面 |
| 9605311 | 教育の方法と技術 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | 2A409 | 早坂 淳 | 授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教員・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。 | 9/5,9/6 対面 1-5限 |
| 9605321 | 教育の方法と技術 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | 2A409 | 花屋 哲郎 | 授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教員・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。 | 9/17,9/19 対面 1-5限 |
| 9605401 | 教育の方法と技術 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水1 | 5C407,5C416 | 宮崎 明世,小池 関也,澤江 幸則 | 授業を構成する要素や、主要な教授法と形態等について研究しながら、教育方法の基礎理論について講義する。具体的には、現場学校の実践例を取り上げながら、授業の設計や実施の方法について考える。また、授業分析、学力に関する理論および教育評価の方法についても学習する。さらにICT教育について、教員・教材ソフト・メディアリテラシー・情報モラル教育等のあり方についても考察する。 | 体育限定 対面(オンライン併用型) 保健体育の免許を取得する者は本講座を履修すること。 |
| 9607111 | 情報通信技術を活用した教育の理論と方法 | 1 | 1.0 | 3 | 春B | 集中 | | 小松 孝太郎 | 情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに、情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について、中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。 | 対面 令和4年度以降入学者対象 「視覚教育論」と「初等情報通信技術を活用した教育の理論と方法」を履修済、履修中、履修予定の学生は履修不可 |
| 9607121 | 情報通信技術を活用した教育の理論と方法 | 1 | 1.0 | 3 | 通年 | 集中 | | 樋口 直宏,田中 怜 | 情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに、情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について、中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。 | 対面 令和4年度以降入学者対象 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|---------------------|---|-----|---|-------|----|-------|-------|---|---|
| 9607131 | 情報通信技術を活用した教育の理論と方法 | 1 | 1.0 | 3 | 秋B | 集中 | 2A309 | 李 禮承 | 情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに、情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について、中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。 | 11/30, 12/1 対面 令和4年度以降入学者 対象 |
| 9607141 | 情報通信技術を活用した教育の理論と方法 | 1 | 1.0 | 3 | 通年 | 集中 | | 緩利 誠 | 情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに、情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について、中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。 | 対面 令和4年度以降入学者 対象 |
| 9607151 | 情報通信技術を活用した教育の理論と方法 | 1 | 1.0 | 3 | 春B | 集中 | 2A410 | 中園 長新 | 情報通信技術の活用の意義について基本的な事項を扱った後に、情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について考察する。さらに、情報活用能力や情報モラルを育成するための指導法について、中等教育の各教科の特性を考慮しながら検討する。 | 6/22, 6/23 対面 令和4年度以降入学者 対象 |
| 9801411 | 生徒指導 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | 2H101 | 京免 徹雄 | いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。 | 体育学生（学籍番号末尾奇数）主対象 8/19, 8/20 対面 2-6限 |
| 9801421 | 生徒指導 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | 2H101 | 花屋 哲郎 | いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。 | 8/26, 8/27 対面 1-5限 |
| 9801441 | 生徒指導 | 1 | 1.0 | 3 | 春季休業中 | 集中 | | 花屋 哲郎 | いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。 | 対面 1-5限 |
| 9801451 | 生徒指導 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | | 宮古 紀宏 | いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。 | 対面 2-6限 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|---|-----|---|-------|-------|-------|-------------|---|---|
| 9801461 | 生徒指導 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | 2H101 | 花屋 哲郎 | いじめや不登校等、児童生徒の諸課題は、厳しい状況にあります。複雑多様化する児童生徒への課題に適切に対応することは重要ですが、課題対応にとどまらない発達支持的生徒指導の重要性が高まっています。学力や社会性、情緒、進学や就業への準備といった児童生徒の総合的な発達を促すには、望ましい学校風土の構築が要になります。このような学校風土の構築を目指す発達支持的生徒指導は、学校教育の基盤とされています。本授業では、2022年に改訂された『生徒指導提要』を参照しながら、重層的支援構造の理論をはじめ、発達支持的生徒指導や課題予防的生徒指導、困難課題対応的生徒指導の具体的な取組みや方法、校内の組織体制、さらには外部との連携・協働について、考えていきます。 | 体育学生（学籍番号末尾偶数）主対象 9/10, 9/12 対面 1-5限 |
| 9801511 | 教育相談の基礎 | 1 | 1.0 | 3 | 春B | 集中 | | 松田 侑子, 生田目光 | 教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。 | 対面 2-6限 |
| 9801521 | 教育相談の基礎 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 火5 | 3A416 | 佐藤 有耕 | 教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。 | 対面 |
| 9801541 | 教育相談の基礎 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 火6 | 2B411 | 佐藤 有耕 | 教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。 | 対面 |
| 9801551 | 教育相談の基礎 | 1 | 1.0 | 3 | 春C | 月5, 6 | 3A402 | 松田 侑子, 生田目光 | 教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。 | 対面 |
| 9801561 | 教育相談の基礎 | 1 | 1.0 | 3 | 秋C | 火5, 6 | 2A309 | 松田 侑子, 生田目光 | 教育相談の基盤となる生徒理解の意義を踏まえた上で、心理・社会的な適応・不適応の概念、心理アセスメントの理論的背景と具体的方法、カウンセリング、行動療法、グループ・アプローチなど教育相談でしばしば用いられる諸技法の理論と実際について講義する。 | 対面 |
| 9801611 | 教育相談の実際 | 1 | 1.0 | 3 | 春BC | 集中 | | 前田 基成 | 不登校、いじめ、非行、発達障害など、現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ、実態、理論的背景、学校での具体的な対応について、事例等を交えながら説明する。 | 対面 2-6限 |
| 9801621 | 教育相談の実際 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 火5 | 3A301 | 濱口 佳和 | 不登校、いじめ、非行、発達障害など、現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ、実態、理論的背景、学校での具体的な対応について、事例等を交えながら説明する。 | 対面 |
| 9801641 | 教育相談の実際 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 火6 | 3A209 | 飯田 順子 | 不登校、いじめ、非行、発達障害など、現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ、実態、理論的背景、学校での具体的な対応について、事例等を交えながら説明する。 | 対面 |
| 9801651 | 教育相談の実際 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 集中 | | 前田 基成 | 不登校、いじめ、非行、発達障害など、現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ、実態、理論的背景、学校での具体的な対応について、事例等を交えながら説明する。 | 対面 2-6限 |
| 9801661 | 教育相談の実際 | 1 | 1.0 | 3 | 秋C | 火1, 2 | 5C506 | 糸井 千尋 | 不登校、いじめ、非行、発達障害など、現代の学校教育現場が抱える様々な心理的不適応に関する問題を網羅的に取り上げ、実態、理論的背景、学校での具体的な対応について、事例等を交えながら説明する。 | 体育学生主対象 対面 |
| 9805021 | 教育相談 | 1 | 1.0 | 3 | 春B | 集中 | 4B116 | 水野智美、非常勤講師 | 学校における教育相談の役割、さらにはその実際について、教育実践の立場から講義を行う。 | 看護学類生で養護教諭課程選択者に限る 対面 |
| 9802111 | 進路指導・キャリア教育 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 火5 | 2B508 | 藤田 晃之 | 進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。 | 対面 |
| 9802211 | 進路指導・キャリア教育 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 月5 | 2B411 | 藤田 晃之 | 進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。 | 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|---|-----|---|-----|----|-------|-------|--|---------------|
| 9802321 | 進路指導・キャリア教育 | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 火5 | 2C310 | 藤田 晃之 | 進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。 | 対面 |
| 9802511 | 進路指導・キャリア教育 | 1 | 1.0 | 3 | 秋C | 集中 | | 藤田 晃之 | 進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。 | 対面 |
| 9802521 | 進路指導・キャリア教育 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 月5 | 2H101 | 藤田 晃之 | 進路指導とそれを包含するキャリア教育について双方の定義や概念を明らかにした上で、進路指導・キャリア教育の視点に立った教育実践、評価改善の推進の在り方やガイダンスとカウンセリングの充実方策、学校内外の組織的な体制づくり等について講義する。 | 体育学生主対象 対面 |

教科指導法

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-----------|------|-----|--------|-----------|------------|-------|--------------|---|------------|
| 9430111 | 国語科教育概論I | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 水1 | 2A410 | 勝田 光 | 中学校および高等学校の理解領域(古典を含む読むこと)および知識・技能に関する事項について、教育界を取り巻くさまざまな動向をみることで、そのポイントについて考える。 | 対面 |
| 9430121 | 国語科教育概論II | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 水2 | 2A410 | 長田 友紀 | 中学校および高等学校の表現領域(話すこと・聞くこと・書くこと)およびICTを活用した国語の授業について、学校現場におけるさまざまな実践事例をみることで、そのポイントについて考える。 | 対面 |
| 9431114 | 国語科教育演習I | 4 | 2.0 | 3 | 秋AB 秋C | 水1 水1,2 | 2A410 | 勝田 光 | 中学校および高等学校の理解領域(古典を含む読むこと)および知識・技能について実際の指導方法を体験したうえでグループ別に教材を選定し教材研究を行い、それに基づく模擬授業を行う。模擬授業ではこれまで提案された指導方法について検討することを通して、学習指導案作成や授業研究の基礎を学び、その力量を向上させる。第1回から第11回では、理解領域および知識・技能に関する領域の既存の教科書の検討を通して教材選定の理由および教材研究の観点を理解する。第12回から第19回では、既存の実践事例を参照しつつ作成した指導案に基づき模擬授業を行う。 | 対面 |
| 9431124 | 国語科教育演習II | 4 | 2.0 | 3 | 秋AB | 火1,水2 | 2A410 | 長田 友紀 | 中学校および高等学校の表現領域(話すこと・聞くこと・書くこと)について実際の指導方法を体験したうえで、マイクロティーチングによる模擬授業を行う。また、これまで提案された指導方法について自ら取り上げて検討したりすることを通して、国語科における学習指導案作成や授業研究の基礎を学び、その力量を向上させる。第1回から第11回では、表現領域の各指導方法を実際に体験したうえで、マイクロティーチングを行う。第12回から第19回では、自らが興味のある実践事例を教育関係の雑誌類から探して、そのポイントや問題点について検討する。 | 対面 |
| 9432114 | 国語科指導法 | 4 | 2.0 | 3 | 秋C春季休業中 | 集中 | | 塗田 佳枝, 千野 浩一 | 第1回から第5回は、中学校における国語科の実際の授業や評価事例をみたくうえで、学習指導案作成のポイントを学び模擬授業を行う。第6回から第20回は、古典(古文・漢文)教育について取り扱う。古文・漢文の基礎的知見を学びつつ、実践例などにも言及しながらその問題点と対応の仕方について考える。また具体的な教材研究の方法・着眼点、授業の方法等を紹介したうえで、模擬授業を実施する。 | 対面 2-6限 |
| 9433004 | 英語科教育基礎論a | 4 | 1.0 | 2 | 春AB | 水2 | 1C210 | 小野 雄一 | 指導の観点から英語自体についての知識を再確認し、指導上の要点や課題を概観する。個人やグループでの作業、ディスカッションを行う。 | 対面 |
| 9433014 | 英語科教育基礎論b | 4 | 1.0 | 2 | 秋AB | 水2 | 1C210 | 久保野 雅史 | 「英語科教育基礎論a」の学修を基盤として、英語の4領域の指導についての要点や課題を概観する。個人やグループでの作業、ディスカッションを行う。 | 対面 |
| 9433044 | 英語科教育概説a | 4 | 1.0 | 3 | 春AB | 水1 | 1C210 | 斉田 智里 | 「英語科教育基礎論a, b」において修得した知識を活用し、おもに授業と学習評価の課題について考察する。グループ・プレゼンテーション、ディスカッションを行い、相互に振り返り改善を重ねていくことで、基礎的実践力を養成していく。 | 対面 |
| 9433054 | 英語科教育概説b | 4 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水1 | 1C403 | 斉田 智里 | 「英語科教育概説a」の学修を基盤として、主に中学校における授業と評価の課題について考察する。模擬授業、ディスカッションを行い、相互に振り返り改善を重ねていくことで、実践的活用力を養成していく。 | 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|----------------|---|-----|-----|------|----|-------|--------------|--|--|
| 9434024 | 中等英語科教育法Ia | 4 | 1.0 | 2 | 春AB | 水1 | 1C310 | 小泉 利恵, 柳沢 明文 | 主に中学校・高等学校における英語科教育の理論的側面を概観するとともに、中・高における英語指導の基本的な知識と技術を体得する。授業においては、個人やグループでの作業、ディスカッションなどへの積極的な参加が求められる。 | 対面 |
| 9434034 | 中等英語科教育法Ib | 4 | 1.0 | 2 | 秋AB | 水1 | 1C310 | 平井 明代, 土方 裕子 | 「中等英語科教育法Ia」の学修を基盤として、さらに英語科教育の理論的側面を概観するとともに、中・高における英語指導の基本的な知識と技術を体得する。授業においては、個人やグループでの作業、ディスカッションなどへの積極的な参加が求められる。 | 対面 |
| 9434064 | 中等英語科教育法IIa | 4 | 1.0 | 3 | 春AB | 水2 | 1C310 | 久保野 雅史 | 「中等英語科教育法Ia, b」の学修を発展させ、主に英語科教育の実践的側面を概観するとともに、模擬授業を中心に、高校における英語指導に役立つ実践的な知識と技術を体得する。 | 対面 |
| 9434074 | 中等英語科教育法IIb | 4 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水2 | 1C310 | 卯城 祐司 | 「中等英語科教育法IIa」の学修を基盤に、英語科教育の実践的側面を概観するとともに、模擬授業を中心に、主に高校における英語指導に役立つ実践的な知識と技術を体得する。 | 対面 (注意) 第5～9回は1C310教室での対面講義、第1～4回および第10回はTeamsによる対話型のオンライン形式を予定しているが、開講1週間前までに、manabaで正式通知する。 |
| 9435001 | ドイツ語教育概説 | 1 | 3.0 | 2 | 秋ABC | 応談 | | 住大 恭康 | ドイツ語教育に必要な文法の知識及び教授法を概説する。(ドイツ語科教育法、及びドイツ語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること) | 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9436001 | ドイツ語科教育法 | 1 | 3.0 | 3 | 通年 | 応談 | | | 高校教育で必要なドイツ語教育についての知識を身につける。(ドイツ語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること。「ドイツ語教育概説」を事前に履修すること) | ドイツ語教育概説の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9436011 | ドイツ語指導論 | 1 | 2.0 | 3・4 | 通年 | 応談 | | | ドイツ語授業における学習者への指導法を、教室での実際の諸事情に即して考察する。 | ドイツ語教育概説とドイツ語科教育法の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9437001 | フランス語教育概説 | 1 | 3.0 | 2 | 通年 | 応談 | | | 中学・高校におけるフランス語教育に必要な基本的知識・能力を身につける。 | フランス語科教育法、及びフランス語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9438001 | フランス語科教育法 | 1 | 3.0 | 3 | 通年 | 応談 | | | フランス語教育の理論的な基礎から実際の諸問題までを学習する。 | フランス語教育概説の単位取得者に限る。フランス語の教育実習を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること。 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9438011 | フランス語指導論 | 1 | 2.0 | 3・4 | 通年 | 応談 | | | フランス語教育指導の具体的な方法を学ぶ。 | フランス語教育概説とフランス語科教育法の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9439001 | 中国語教育概説 | 1 | 3.0 | 2 | 通年 | 応談 | | | 中国語教育に必要な文法の知識及び教授法を概説する。(中国語科教育法を履修する者は必ず事前にこの単位を取得すること) | 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9440001 | 中国語科教育法 | 1 | 3.0 | 3 | 通年 | 応談 | | | 高校教育で必要な中国語文法を重点的に指導する。(中国語の教員免許取得希望者は必ずこの単位を取得すること。「中国語教育概説」を事前に履修すること。) | 中国語教育概説の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9440011 | 中国語指導論 | 1 | 2.0 | 3・4 | 通年 | 応談 | | | 中国語をめぐるさまざまな問題について、多方面からの検討をおこなう。 | 中国語教育概説と中国語科教育法の単位取得者に限る 対面 2018年度以前入学者対象 |
| 9441101 | 中等社会・地理歴史科教育法I | 1 | 1.0 | 2・3 | 春AB | 水1 | 2A309 | 金 玟辰 | 本授業は、中学校社会科および高等学校地理歴史科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質について理論的に、実践を踏まえながら解説する。また、社会科・地理歴史科に関するテーマについて模擬授業と討論を取入れ、演習の形態とする。 | 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|---|-----|-----|-----------|----------------|-------|---------------|--|----------------------------------|
| 9441201 | 中等社会・地理歴史科教育法II | 1 | 2.0 | 2・3 | 秋AB 秋C | 水1 水1,2 | 2A309 | 國分 麻里 | 本授業は、中学校社会科および高等学校地理歴史科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質について理論や実践を学ぶ。単に教科の特色に関する内容や方法を講義式で学ぶだけでなく、模擬授業を行いながら、教師としての実践的な力を養う。 | 中等社会科・地理歴史科教育法Iを修得済みであること。 対面 |
| 9442101 | 中等社会・公民科教育法I | 1 | 1.0 | 2・3 | 春AB | 水1 | 2A409 | 唐木 清志 | 学習指導要領に示された中学校社会科及び高等学校公民科の性格、中学校社会科及び高等学校公民科の歴史や具体的な授業実践例などについて、教員の講義を中心に授業を進める。 | 対面 |
| 9442201 | 中等社会・公民科教育法II | 1 | 2.0 | 2・3 | 秋AB 秋C | 水1 水1,2 | 2A409 | 唐木 清志 | 中学校社会科及び高等学校公民科に関する教材研究、単元開発、評価方法等に関して教員が講義した上で、学生には実際に模擬授業を体験してもらい、授業づくりに必要とされる実践的なスキルを身に付けてもらう。 | 中等社会科・公民科教育法Iを履修済みであること。 対面 |
| 9443101 | 社会科地理歴史指導法 | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋AB | 集中 | | 國分 麻里 | 本授業は、中学校地理歴史の教員についての知識や方法の基本的知識を講義で学び、地理と歴史の内容や方法に関して、自ら学習指導案や授業実践を演習形式で行うことで教師としての自覚や基礎を身に付ける。 | 正規生は3年次以上の履修が望ましい 対面 |
| 9445001 | 社会科公民指導法 | 1 | 1.0 | 2・3 | 春A | 集中 | 2A309 | 唐木 清志 | 学習指導要領に示された中学校社会科の教育目標と教育内容と、最新の授業づくりの方法について、体験的に理解することを目的として授業を進める。 | 5/3, 5/4 対面 1-5限 |
| 9446101 | 地理歴史科指導法 | 1 | 1.0 | 2・3 | 春AB | 水2 | 2A309 | 金 玟辰 | 本授業は、高等学校地理歴史科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質について理論的に、実践を踏まえながら解説する。また、講義内容に基づいて社会科・地理歴史科の模擬授業を行い、演習の形態とする。 | 対面 |
| 9448111 | 公民科指導法 | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋AB | 集中 | | 山本 智也 | 本授業は、高等学校公民科の教科を担当する教員に必要な基本的知識や資質を理論的に、実践を踏まえながら解説する。また、講義内容に基づいて公民科の模擬授業を行い、演習の形態とする。 | 対面 2-6限 |
| 9450101 | 数学科教育概論I | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 木2 | 3A410 | 小松 孝太郎, 磯田 正美 | 中学校・高等学校における数学の学習指導について、数学的活動やICT活用の観点から考察し、数学科教育の目標に関する見識を深めるとともに、数学科教員として必要な資質を高める。 | 対面 |
| 9450201 | 数学科教育概論II | 1 | 2.0 | 3 | 秋AB 秋C | 木1 木2 集中 | 3A203 | 清水 美憲, 蒔苗 直道 | 中学校・高等学校数学科の目標、教育課程、学習指導法について概説し、数学科教育の現状と課題について考察するとともに、数学科教員として必要な見識を高める。各学校段階や各領域における学習指導については、学習指導案作成や模擬授業などの演習や課題解決を含む。 | 対面 秋AB木1限、秋C木2限、秋C集中2-6限（1日間） |
| 9451001 | 数学科教育内容論 | 1 | 1.0 | 3 | 秋C | 木1, 集中 | 3A207 | 清水 美憲, 磯田 正美 | 高等学校までに学ぶ数学を題材に、より高い立場から数学における論理構成の方法、理論の拡張と体系化の方法を、具体的な事例の検討を通して学ぶ。現在の学校数学では扱われていない凹四角形やたこ形のような図形を多角形のなかに位置づける活動を通して公理、公準、定義の重要性を考えるとともに、演算の可能性を広げるといった立場から数の範囲を拡大していくなかでの代数的構造の位置を検討する。また、Geogebra等のソフトについて、効果的な活用を検討する。 | 対面 秋C木1限、秋C集中2-6限（1日間） |
| 9452001 | 数学科授業研究 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | 2A409 | 太田 伸也 | 中学校・高等学校の数学科の授業研究の方法について、教材と生徒の学習の視点から授業をとらえるあり方を学び、数学科教員として必要な見識を高める。 | 9/28, 9/29 対面 2-6限 2日間 |
| 9453001 | 数学科指導法 | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 木1 | 3A402 | 山田 研也 | まず、中学校・高等学校の数学の授業を通じて「何をこそ身につけさせたいのか」（指導目標）をおさえ、それを踏まえた上で、「何を学ぶのか」（指導内容）を確認する。指導目標・内容に大きく関わるのが、「いかに学ぶか」ということであり、生徒の学習活動のあるべき姿を探求し、それを実現するための教師の役割について考察する。 | 対面 |
| 9453101 | 数学科教材論 | 1 | 2.0 | 3 | 秋ABC | 集中 | | 中川 裕之, 小石沢 勝之 | 学校数学の内容をどのような考えを背景に構成し得るのか。例えば、何故、そこでその内容を指導するのか、その説明理論を教材とともに検討する。 | 対面 2-6限 4日間 |
| 9454111 | 理科教育概論IA | 1 | 1.0 | 2・3 | 春AB | 木1 | 3A304 | 遠藤 優介 | 現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。本授業は、中等理科教育の概論かつ入門に位置付くものであり、「理科教育概論IB」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。 | 地球・物理・化学・応理・エンス・社工対象 対面 |
| 9454121 | 理科教育概論IIA | 1 | 1.0 | 2・3 | 春AB | 木1 | 2A309 | 山本 容子 | 現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。理科教育の基礎理論を解説した後、理科教育の実践への入門として実践的な演習を行う。本授業は、「理科教育概論IIB」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。 | 生物・資源対象 対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|------------|---|-----|-----|---------|----|-------|-------|---|---|
| 9454211 | 理科教育概論IB | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋AB | 木1 | 3A304 | 遠藤 優介 | 現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。本授業は、中等理科教育の概論かつ入門に位置付くものであり、「理科教育概論IA」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。 | 地球・物理・化学・応理・エンス・社工対象 対面 |
| 9454221 | 理科教育概論IIB | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋AB | 木1 | 2A309 | 山本 容子 | 現代理科教育研究の動向を踏まえつつ、中等理科教育の理論と実践について解説する。理科教育の基礎理論を解説した後、理科教育の実践への入門として実践的な演習を行う。本授業は、「理科教育概論IIA」と合わせて理科教育全般に渡る内容を取り扱いながら、理科教育を実践していく上での長期的な基盤を形成することを主眼とする。 | 生物・資源対象 対面 |
| 9455011 | 中等理科教育論I | 1 | 2.0 | 2・3 | 秋B | 集中 | | 今村 哲史 | 本授業では、近年の理科教育研究の動向を踏まえて、中学校及び高等学校理科、特に物理及び化学分野を中心に、理論と実践について概説する。まず、国内外の学力調査等の結果を踏まえ、理科教育の現状と諸問題についても講述する。その上で、中学校及び高等学校学習指導要領(理科)の基本的な考え方について考える。次に、理科の教授学習に関する諸説や取り組みを紹介する。そして、中学校及び高等学校理科におけるカリキュラム作成や学習指導等の視点から、中等理科教育の現代的問題について解決の糸口を探る。 | 詳細後日周知。対面 2-6限 |
| 9455021 | 中等理科教育論II | 1 | 2.0 | 2・3 | 秋A | 集中 | | 藤田 剛志 | 理科教育の現実とそれを取り巻く諸問題に配慮しながら、中学校・高等学校の理科教育に関する理論と実践について概説する。まず、学習内容および学習指導に関わる現実的問題について把握する。次に、学習指導方法に関する基礎的な理論を学ぶ。最後に、学習指導を実践していく上で必要とされる具体的な技能や方法を習得することをめざす。 | 詳細後日周知。対面 2-6限 |
| 9456011 | 中学校理科教育論 | 1 | 1.0 | 3 | 春季休業中 | 集中 | | 人見 久城 | 中学校理科における学習内容、教材、指導方法について解説する。教材、ものづくり、観察・実験の具体例をいくつか取り上げ、受講生が実体験を通して理解できるように配慮する。 | 詳細後日周知。対面 |
| 9457031 | 中学校理科教育実践論 | 1 | 1.0 | 3 | 秋B | 集中 | | 郡司 賀透 | 本講義においては、まず理科教育が基盤をおく科学の問題解決(科学的探究)のプロセスについて、論理的・認識論的に考察し、その特徴について論じる。また、日本の理科学習指導要領の変遷と日本の子どもの学力の状況について論じ、中学校理科の教授論を実践と関係づけながら講義と実習を行う。授業は、グループを単位とした実習、授業づくり、ビデオ視聴などの学生参加型を目指す。 | 詳細後日周知。対面 2022年度まで開講の中学校理科教育実践論I(9457011)、ないし中学校理科教育実践論II(9457021)に対応。 9457011ないし9457021の単位を取得済みの者の履修は認めない。 |
| 9458001 | 福祉科指導法I | 1 | 3.0 | 3 | 通年 | 応談 | | 名川 勝 | 従来の人権教育および福祉教育の理念や方法論を概観し、必要に応じて身近な福祉問題を考えるためのフィールドワーク等の体験を手がかりとした教材としての福祉教育に取り組む場合の「指導目標、指導内容、指導方法、指導上の配慮点・教材開発」などを教授する。 | 春学期当初開催するオリエンテーション(別途掲示)参加が必要。 詳細後日周知。対面 |
| 9459001 | 福祉科指導法II | 1 | 1.0 | 3 | 通年 | 応談 | | 森地 徹 | 「福祉科指導法I」の授業内容についてさらに理解を深めるために、受講者は授業案を作成し、その成果について検討する。またこれらの作成に必要な事項を講述する。 | 「福祉科指導法I」を受講済みあるいは受講している学生に限る。 春学期当初開催するオリエンテーション(別途掲示)参加が必要。 詳細後日周知。対面 |
| 9460001 | 農業科教育法概論 | 1 | 2.0 | 1-4 | 春C夏季休業中 | 集中 | | 建元 喜寿 | 農業教育の発達と歴史をふまえて、農業科教育の目的・教育課程・学習指導の理論と方法・評価法・高等学校学習指導要領・高等学校農業教育の現状と課題などを概説する。 | 西暦偶数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要) |
| 9461001 | 農業科指導法 | 1 | 2.0 | 1-4 | 夏季休業中 | 集中 | | 石井 克佳 | 高等学校教育の農林業、環境、食をめぐる指導法について、その手法・対象・主体など多様な観点から解説し、教育現場での農業科指導法の実際を習得させる。 | 西暦偶数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要) |
| 9462001 | 技術科教育法概論 | 1 | 2.0 | 1-4 | | | | | 中学校技術・家庭科における技術教育を、一般教養ならびに普通教育として位置づけ、その目的、歴史の変遷、今日の現状等について概略を述べ考察する。プロジェクト法を中心とする技術科固有の指導法にも触れる。 | 技術科指導法I, IIと合わせて履修すること。 西暦奇数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要) |
| 9463001 | 技術科指導法I | 1 | 3.0 | 1-4 | | | | | 学習指導要領に沿って、技術・家庭科(技術分野)の指導内容を解説する。年間指導計画や学習指導案の作成を通して、社会に必要な技術教育の内容を考察する。学校運営の立場から、家庭分野や他教科との連携にも触れる。 | 技術科教育法概論を履修した後に履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要) |

| | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|---|-----|-------|-------|-------|-------|--|---------------------|--|--|
| 9464001 | 技術科指導法Ⅰ | 1 | 3.0 | 1 - 4 | | | | | | 技術・家庭科(技術分野)の指導に用いられる教材・教具を紹介し、学習題材の概念とその組み立て方を研究する。一定の条件下で、新しい題材の考案も試みる。さらに必要な施設・設備を概説し、学習環境の整え方を示す。 | 技術科指導法Ⅰを履修した後に履修することが望ましい。 西暦奇数年度開講。 対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せ必要) |
| 9465001 | 工業科指導法 | 1 | 4.0 | 3 | | | | | | 工業教育の歴史的背景と変遷、ならびに、教育課程・学習指導・評価・教育機器・施設と設備・教師の職務等、工業科教育の特質的事情について、その内容・方法・問題点等を概説する。 | 教職免許「工業」を取得する学生に限る 2024年度開講せず。 |
| 9466001 | 情報科指導法Ⅰ | 1 | 2.0 | 2・3 | | | | | | 高等学校の情報科教育で必要とされる基本的な知識や技術について習得し理解を深めることを目的とする。情報科の目標や指導理論について講義を行い、教材開発、指導法、学習の評価方法等の技術について解説する。 | 原則として対面授業、開講日は掲示にて連絡。 西暦奇数年度開講。 |
| 9467001 | 情報科指導法Ⅱ | 1 | 2.0 | 2・3 | 夏季休業中 | 集中 | | | 稲垣 俊介 | 高等学校の情報科教育で必要とされる基本的な知識や技術について習得し理解を深めることを目的とする。情報科指導法Ⅰに引き続き、教材開発、指導法、学習の評価方法等について計算機の有効な活用方法、計算機環境の運用・管理などについて習得する。 | 原則として対面授業、開講日は掲示にて連絡。 西暦偶数年度開講。 |
| 9468101 | 保健体育科教育法概論Ⅰ | 1 | 1.0 | 2 | 秋AB | 水2 | 50216 | | 片岡 千恵, 野津 有司 | 保健科教育の目標、内容、方法および評価について、保健授業の課題と関連づけながら講述する。 | オンライン(オンデマンド型) |
| 9469101 | 保健体育科教育法概論Ⅱ | 1 | 1.0 | 2 | 秋C | 火1, 2 | 50216 | | 三田部 勇 | 体育科教育を取り巻く制度的条件、学習指導要領に示されている体育の目標と指導内容、内容の取扱いについて理解することができる。 | 対面(オンライン併用型) |
| 9470001 | 保健体育科教育法概論Ⅲ | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 金2 | 50506 | | 長谷川 悦示 | 現実の学習指導における課題について論述すると共に、研究的な立場からアプローチの方法について述べる。 | 対面(オンライン併用型) |
| 9473001 | 美術科教育法概論Ⅰ | 1 | 1.0 | 2・3 | 春C | 集中 | | | 市川 寛也 | 美術科教育における歴史、目的、内容、方法について概説する。 | 2020年度以前入学者対象。 実務経験教員、対面 |
| 9474001 | 美術科教育法概論Ⅱ | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋C | 集中 | | | 渡邊 美香 | 美術科教育の役割や今日的課題について概説する。 | 2020年度以前入学者対象。 実務経験教員、対面 |
| 9475001 | 美術科指導法Ⅰ | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋B | 集中 | | | 箕輪 佳奈恵, 直江 俊雄 | 美術科教育における学習指導と教材開発のための基礎的な観点や方法について概説する。 | 実務経験教員、対面 状況によってはオンライン(オンデマンド型・同時双方向型)に変更する可能性あり |
| 9476001 | 美術科指導法Ⅱ | 1 | 1.0 | 2・3 | 春AB | 月6 | 50317 | | 吉田 奈穂子 | 美術科教育における諸種の指導法の理論と適用について学ぶ。 | 実務経験教員、対面 |
| 9477001 | 美術科指導法演習Ⅰ | 1 | 1.0 | 2・3 | 春C | 月5, 6 | 50317 | | 直江 俊雄 | 美術科教育における指導計画の立案、教材作成、指導の実際、評価について演習を通して学ぶ。 | 実務経験教員、対面 |
| 9478001 | 美術科指導法演習Ⅱ | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋B | 集中 | | | 石崎 和宏 | 中学校美術科・高等学校芸術科(美術)における学習指導と教材開発のための基礎的な観点や方法について検討します。特に、受講者自身の学習経験をふり返りながら美術教育に対する問題意識を高め、その問題意識に関連させて美術の教材開発の視点をグループで検討し、授業の導入で活用する資料やツールを作成し、模擬実践します。 | 実務経験教員、対面 |
| 9478111 | 造形教育論Ⅰ | 1 | 1.0 | 2 - 4 | 春AB | 木2 | 50407 | | 箕輪 佳奈恵, 直江 俊雄 | 美術教育と多様な文化との関わりについて、実践的・体験的な活動を通して学ぶ。 | 実務経験教員、対面 オンライン(同時双方向型) |
| 9478121 | 造形教育論Ⅱ | 1 | 1.0 | 2 - 4 | 秋AB | 木2 | 50216 | | 直江 俊雄, 水野 裕史, 宮坂 慎司 | 芸術による教育について考える。 | 実務経験教員、対面 |
| 9479001 | 工芸科教育法概論Ⅰ | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋A | 集中 | | | 松島 さくら子 | 工芸科教育における歴史、目的、内容、方法について概説する。 | 2020年度以前入学者対象。 実務経験教員、対面 |
| 9480001 | 工芸科教育法概論Ⅱ | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋A | 集中 | | | 内田 裕子 | 工芸科教育における学習指導の実際について概説する。 | 2020年度以前入学者対象。 実務経験教員、対面 |
| 9481001 | 工芸科指導法 | 1 | 1.0 | 2・3 | | | | | | 高等学校芸術科工芸における学習指導と教材開発のための基礎的な観点や方法について、表現領域と鑑賞領域の両面から検討する。 | 西暦奇数年度開講。 実務経験教員、対面 状況によってはオンライン(オンデマンド型・同時双方向型)に変更する可能性あり |
| 9482001 | 工芸科指導法演習 | 1 | 1.0 | 2・3 | 通年 | 随時 | | | 箕輪 佳奈恵, 直江 俊雄 | 高等学校芸術科工芸における学習指導の基礎となる理論と方法をもとに演習を行う。 | 西暦偶数年度開講。 実務経験教員、対面 |
| 9483301 | 書道科教育論Ⅰ | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 水1 | | | 菅野 智明 | 高等学校の書教育について、その指導方法を講述する。 | 実務経験教員、対面 |
| 9483401 | 書道科教育論Ⅱ | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 水1 | | | 菅野 智明 | 高等学校の書教育について、その指導方法を講述する。 | 実務経験教員、対面 |
| 9484101 | 書道科教育法特講Ⅰ | 1 | 1.0 | 3 | | | | | | 高等学校の書教育について、その実践的な能力を身につけることを講述する。 | 西暦奇数年度開講。 実務経験教員、対面 |

| | | | | | | | | | | |
|---------|-----------------|---|-----|-----|-------|------|----------------------------|-----------------------------|--|--|
| 9484201 | 書道科教育法特講II | 1 | 1.0 | 3 | 春C | 集中 | | 菅野 智明 | 高等学校の書教育について、その実践的な能力を身につけることを講述する。 | 西暦偶数年度開講。 実務経験教員、対面 |
| 9485001 | 体育理論の授業づくり | 1 | 1.0 | 3 | 秋C | 火4,5 | 5C213 | 宮崎 明世 | 体育科理論の個別の教科内容領域に即して、体育理論の授業づくりの方法について理解する。 | 対面(オンライン併用型) |
| 9486001 | アダプテッド体育授業理論・実習 | 1 | 1.0 | 3 | 通年 | 随時 | | 齊藤 まゆみ, 澤江 幸則 | 特別支援教育諸学校の体育指導の実際を知り、その指導法について学び、指導計画の立案をする。 | 体育専門学群生3年次以上に限る。5月にオリエンテーションと希望調査を実施するので春ABで履修申請をしておくこと。受け入れ先ごとに日程が異なる。科目等履修生については、体育専門学群卒業生のみ履修可。 対面 |
| 9487001 | 体育授業理論・実習I | 1 | 1.0 | 3 | 春AB | 火5 | 5C212, 5C213, 5C316, 5C317 | 長谷川 悦示, 宮崎 明世, 三田部 勇, 齋藤 拓真 | 体育授業づくりのための基礎的知識を得るとともに、教材づくり、指導計画づくり等の実習を通して実践的な能力を習得する。 | 教育実習参加を希望するものは、実習前に必ず履修するようにしてください。 対面、オンライン(同時双方向型) 対面またはオンライン(同時双方向型) |
| 9487101 | 体育授業理論・実習I | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 火5 | 5C212 | 長谷川 悦示, 宮崎 明世, 三田部 勇, 齋藤 拓真 | 体育授業づくりのための基礎的知識を得るとともに、教材づくり、指導計画づくり等の実習を通して実践的な能力を習得する。 | 対面、オンライン(同時双方向型) 対面またはオンライン(同時双方向型) |
| 9488001 | 体育授業理論・実習II | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 火5 | 5C213, 5C316, 5C317 | 長谷川 悦示, 宮崎 明世, 三田部 勇, 齋藤 拓真 | 指導計画や学習資料を作成するとともに、模擬授業及び授業分析の実践を通してよい体育授業を実現するための実践的な能力を習得する。 | 体育授業理論・実習Iの単位を修得済みであること。 対面、オンライン(同時双方向型) 対面またはオンライン(同時双方向型) |
| 9489001 | 体育授業理論・実習III | 1 | 1.0 | 3 | 秋AB | 随時 | | 宮崎 明世, 長谷川 悦示 | 大学の体育実技の指導補助、観察記録などを通して体育授業の実際を経験することによって、生きた実践的な能力を身につける。 | 体育授業理論・実習I及びIIの単位を修得済みであること。年度当初にガイダンスを実施するので、履修希望者は必ず参加すること。 対面 授業形態：対面型 |
| 9490001 | 保健授業理論・実習 | 1 | 1.0 | 3 | 夏季休業中 | 集中 | | 野津 有司, 片岡 千恵 | 保健科教育の授業づくりに必要な基礎的な知識や考え方を解説する。また、教材づくりや指導計画づくり等の実習を行う。 | 保健体育科教育法概論Iの単位修得者に限る。 対面 |
| 9491001 | 美術科・工芸科教育法I | 1 | 1.0 | 2・3 | 春C | 集中 | | 市川 寛也 | 中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の指導法の理論と適用について学ぶ。 | 2021年度以降入学者対象。 実務経験教員、対面 |
| 9492001 | 美術科・工芸科教育法II | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋C | 集中 | | 渡邊 美香 | 中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の役割や今日的課題について学ぶ。 | 2021年度以降入学者対象。 実務経験教員、対面 |
| 9493001 | 美術科・工芸科教育法III | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋A | 集中 | | 松島 さくら子, 石崎 和宏 | 中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の歴史、目的、内容、方法について学ぶ。 | 2021年度以降入学者対象。 実務経験教員、対面 |
| 9494001 | 美術科・工芸科教育法IV | 1 | 1.0 | 2・3 | 秋A | 集中 | | 内田 裕子 | 中学校美術科における工芸ならびに高等学校芸術科における工芸の学習指導の実際について学ぶ。 | 2021年度以降入学者対象。 実務経験教員、対面 |

教育実習

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|----------|------|-----|--------|------|-----------|----|-------|---|----|
| 9501003 | 教育実習(国語) | | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | 教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。 | |

| | | | | | | | | |
|---------|------------|---|-----|---|-----------|----|-------|---|
| 9502003 | 教育実習(英語) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9506003 | 教育実習(社会) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9507003 | 教育実習(地理歴史) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9508003 | 教育実習(公民) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9509003 | 教育実習(数学) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9510003 | 教育実習(理科) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |

| | | | | | | | | |
|---------|------------|---|-----|---|-----------|----|-------|---|
| 9511003 | 教育実習(福祉) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9512003 | 教育実習(農業) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9513003 | 教育実習(技術) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9514003 | 教育実習(工業) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9515003 | 教育実習(情報) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |
| 9516003 | 教育実習(保健体育) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | <p>教育実習を行う。</p> <p>注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。</p> |

| | | | | | | | | |
|---------|----------|---|-----|---|-----------|----|-------|---|
| 9517003 | 教育実習(美術) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | 教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。 |
| 9518003 | 教育実習(工芸) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | 教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。 |
| 9519003 | 教育実習(書道) | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 唐木 清志 | 教育実習を行う。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。 |

養護実習(2012-)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------|------|-----|--------|------|-----------|----|-------|--|------------------------|
| 9522003 | 養護実習 | | 3 | 5.0 | 4 | 春学期 秋A | 集中 | 水野 智美 | ヘルスプロモーションの視点から児童生徒の心身の発達課題および健康実態を把握し、学校保健活動と養護教諭の役割を理解する。 注: 1.参加申込は、前年度の10月に行う。 2.実習校決定・関係資料の配布は、前年度の2月に行う。 3.履修申請は不要である。(参加申込をもって履修申請に代える。) 4.実習に関する伝達事項は、各学群の掲示板に発表するので注意すること。 5.本実習(3週間)の参加者は、「教育実習(事前指導)」及び「報告指導会(事後指導)」にも出席しなければ、教育実習の単位認定(5単位)はできないので、必ず出席すること。 | 看護学類養護教諭過程 選択履修生に限る |

教職実践演習

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|--------------|------|-----|--------|------|------------------|----|-------|---|--|
| 9806001 | 教職実践演習(中・高) | | 1 | 2.0 | 4 | 夏季休業 中 秋AB | 集中 | 唐木 清志 | 講義・演習並びに学校現場の見学・訪問を通して、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されているのかを、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するとともに必要な知、技能を改善することとする。 | 教育職員免許状(中学校・高等学校)取得希望者で、教育実習を含む教職に関する科目をすべて履修したものに 対面 |
| 9806011 | 教職実践演習(養護教諭) | | 1 | 2.0 | 4 | 夏季休業 中 秋AB | 集中 | 唐木 清志 | 講義・演習並びに学校現場の見学・訪問を通して、教職課程の他の科目の履修や教職課程外での様々な活動を通じて身につけた資質能力が、教員として最小限必要な資質能力として有機的に統合され、形成されているのかを、大学が自らの養成する教員像や到達目標等に照らして最終的に確認するとともに必要な知、技能を改善することとする。 | 教育職員免許状(養護教諭)取得希望者で、教育実習を含む教職に関する科目をすべて履修したものに 対面 |

その他

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|------|-----|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|----|
|------|-----|------|-----|--------|------|-----|----|------|------|----|

| | | | | | | | | | | |
|---------|----------|---|-----|---|-------|----|-------|-------|---|---|
| 9004001 | 介護等体験の意義 | 1 | 1.0 | 1 | 春季休業中 | 集中 | 2H101 | 唐木 清志 | 介護等体験の制度と趣旨及び目的を概説する。体験の実施先である特別支援学校及び社会福祉施設における教育や介助・介護の実際と守るべきマナー等について概説する。 | 【1年次生及び介護等体験事前指導未受講者対象】介護等の体験を行なうための事前指導の科目(小学校・中学校の免許状を取得しようとする者は必修)平成30年度以前入学者の「教科又は教職に関する科目」に対応し、平成31年度以降入学者の「大学が独自に設定する科目」に対応する対面 |
|---------|----------|---|-----|---|-------|----|-------|-------|---|---|

その他(職業指導)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|------|------|-----|--------|---------|-----|----|-------|---|--|
| 9001001 | 職業指導 | 1 | 4.0 | 1 - 4 | 春C夏季休業中 | 集中 | | 嶋田 昌夫 | この授業は農業や工業の免許取得に必要な科目であり、教職教養を高め教員の資質向上を目指すものである。しかしながら、社会に出ること、親や指導者になるということ、これからどう生きるかということからも一般成人として必要な知識などについて学びます。また、一方的な講義だけでなくゼミ形式やディスカッション、プレゼンテーションなどの参加型授業を目指しています。 | 免許教科「農業」「工業」に対応する西暦偶数年度開講。対面 原則隔年開講(開講の有無については別途問合せが必要) |

その他(情報と職業)

| 科目番号 | 科目名 | 授業方法 | 単位数 | 標準履修年次 | 実施学期 | 曜時限 | 教室 | 担当教員 | 授業概要 | 備考 |
|---------|-------|------|-----|--------|------|-----|----|-------------|--|---------------------------|
| 9005001 | 情報と職業 | 1 | 1.0 | 2 - 4 | 秋AB | 月2 | | 小野 肇, 水野 一徳 | 情報化の発達に伴い、様々な事が社会に影響をおよぼしている。これらの影響を多角的に捕え、情報産業の現状を把握すると共に職業としての情報について考える。また情報分野における職業観及び職業倫理等についても言及する。 | 免許教科「情報」に対応する。西暦偶数年度開講。対面 |